

日本版 PRESS RELEASE

(米国報道発表資料抄訳—2010年1月11日)



DSGと米製薬企業、重大疾患の早期発見をグローバル規模で実施

—アルツハイマー、パーキンソン、糖尿病の早期発見をEDC技術が支援—

2010年1月11日 米ペンシルベニア州マルバーン(MALVERN, Pa)発 EDC(治験のデータ入力管理システム)のリーディングカンパニーである米DSG(本社: 米ペンシルベニア州マルバーン、CEO兼社長: トニー ヴアラノ、以下DSG)は、最先端を走る製薬メーカーが、アルツハイマー、パーキンソン、糖尿病の早期発見を急ぐため、DSGと組んだと発表しました。

人間疾患の早期発見の足がかりとなる、分子イメージング製品の開発に焦点が当てられ、DSGのEDC(電子データ収集)システム eCaseLink™は、現在、アルツハイマー型認知症、パーキンソン病、糖尿病の、3つの試験を支援しています。eCaseLink™は、症例報告書や進捗状況のリアルタイムレビューを、全試験施設を横断して可能とし、治験実施のスピードを著しく速める一方、治験にかかるコストを30%程度削減いたします。

DSGのeCaseLink™は、診断機器メーカーや治療メーカーに対して、リアルタイムによる治験のデータ収集と管理を可能にするだけでなく、試験が進む中で、必要な機能を追加することもできます。DSGを導入した顧客メーカーは、経験豊富で手厚いサポートを行うDSGのプロジェクトスタッフに加え、進化を遂げるeCaseLink™システムが、彼らの治験プロセスに、即座で、且つ継続的に利益をもたらすことを知りました。

「私たちは、製薬業界を牽引する顧客に対して、消耗性疾患の早期発見という重要なミッションの達成を、最新の技術を提供することで貢献できていることをとても光栄に思っています。」と、DSGのCEO(最高経営責任者)、トニー・ヴァラノは述べています。「DSGの製品は、他の既製の治験パッケージソフトウェアと違い、治験ごとに個別のニーズに対応した、モジュール単位のソリューションの選択導入が可能で、それを好評なことを、とても喜ばしく思っています。」

DSGについて

DSGは主力製品である、EDCを始め、データマネジメントサービス、IWRS(ウェブベースの被験者ランダム化及び治験薬・検査キットの供給・割付管理ツール)、治験管理システム(CTMS)、オンデマンドのデジタル症例報告書出力ソフトなどを自社開発し、治験のデータ収集と管理を総合的にサポートしています。DSGの製品は、ユーザーの利便性を第一に考え、研究施設のインフラ環境に依存することなく、簡単で且つ正確なデータ収集を行う事ができます。これまで、世界68カ国で325社以上の顧客に対し、1,000以上の試験を18,000以上の施設にて導入されています。1992年に設立、米ペンシルベニア州マルバーンにグローバル本社を置くほか、米国、日本、そしてインドにそれぞれオフィスを設けています。DSGの会社概要・詳細は以下のウェブサイトでご参照頂けます。

<<http://www.dsg-us.com>>

※ 本資料は、2010年1月11日付けで、米国DSGが発表したニュースリリースを日本語に翻訳したものです。本記者発表文の公式バージョンはオリジナル言語版です。翻訳言語版は、読者の便宜を図る目的で提供されたものであり、法的効力を持ちません。翻訳言語版を資料としてご利用になる際には、法的効力を有する唯一のバージョンであるオリジナル言語版と照らし合わせて頂くようお願い致します。

—次のページへ続く—

DSG, Inc. • Great Valley Corporate Center • 325 Technology Drive, Malvern, PA 19355
+1 (484) 913-0210 (USA) +81 (03) 6277-2295 (JAPAN)
www.dsg-us.com

<本件に関するお問合せ・取材等のお申し込み先>

DSG, Inc.

日本オフィス 代表: 三橋拓樹

TEL: (03) 6277-2295

E-mail: hmitsuhashi@dsg-us.com

© 2010 DSG, Inc. All rights reserved. All products and services mentioned in this announcement are the property of their respective owners.